

SR-1000

取扱説明書



Ver.1.12-008

 株式会社 **エス・アール**

製品保証規定

- 本製品の保証期間は、お買い上げ日から1年間です。
- 保証期間内の無料修理は、故障製品を当社までお送り頂き修理完了品又は代替品をお客様に返送することとします。製品保証書に記載された“製品保証に関するお問い合わせ先”からご案内した宛先まで故障製品を送付して下さい。配送料はお客様負担でお願い致します。いかなる場合でも商品を発送する際は、かならずお買い求めの販売店にご連絡下さい。
- 保証期間内であっても次の項目に該当する場合は無料修理の範囲外とさせていただきます。(但し、無料修理の範囲外であっても有料での修理又は代替品への交換・サービスはご利用頂けます。)
 - 1：使用上の誤り、又は不当な修理や改造によって生じた故障及び損傷
 - 2：お買い上げ後の輸送、移動、落下等によって生じた故障及び損傷
 - 3：接続している他の機器によることが起因して生じた故障および損傷
 - 4：火災、地震、水害、落雷、その他の天変地異、公害、塩害、異常電圧等の外部要因によって生じた故障及び損傷
 - 5：読み取りバーコードの状態が著しく劣悪な場合
 - 6：本製品保証書の提示がない場合、本体のシリアル番号ラベルが確認できない場合
 - 7：本製品保証書の所定事項に記入がない場合、又は字句を不当に書き換えられた場合
 - 8：ケーブル類（但し、初期不良は除きます。）
- 初期不良品と認められた場合、同製品または同等品と交換させていただきます。(返金はできません)お客様から初期不良品を発送していただくときの送料は弊社が負担いたします。また、商品が不良品でなかった場合は、技術料を頂く場合がございます。「初期不良」とは、以下の基準を満たしている必要があります。
 - 1：商品到着後7日以内
 - 2：商品の付属品（パッケージ、取説、納品書等書類）がすべてそろっていてなおかつ損傷がないこと
 - 3：お客様による商品の取り扱い不注意で、落下等の不適切な扱いがないこと
 - 4：製品の仕様書に記されている使用条件、または使用上の注意事項等を逸脱して使用されていないこと
- 返品につきましては、未開封の（パッケージ、商品が入っていた袋等）状態の物と初期不良品（不良品については上記「初期不良とは」を参照）のみ、返品可とさせていただきます。特注品の場合は、不良品以外の返品は一切不可とさせていただきます。もし、お客様のご要望により、不良品をほかの商品に変更の場合は、変更商品の価格が、変更前の商品より、価格が上の場合のみとさせていただきます。その際には、価格の差額分をご請求させていただくこととなります。お客様のご都合による返品の場合は、送料、手数料のご負担をお願い致します。こちらから商品を発送させて頂いた時の送料も、ご負担をお願い致します。
- 修理によって交換された不良部品の所有権は当社に帰属するものとします。
- 本製品保証規定は、本製品についてのみ無料修理をお約束するもので、本製品の故障又は使用によるその他の損害については、当社はその責を一切負わないものとします。
- 本保証は日本国内での使用においてのみ有効です。
- 本保証の規定内容は予告無く変更する場合がございます。

このマニュアルは予告なしに変更されることがあります。

＜製品に関するお問い合わせ先＞

株式会社エス・アール

〒486-0821 愛知県春日井市神領町2丁目23番地12 名藤ビル2階

TEL：0568-85-9939 FAX：0568-84-1755

営業時間 10:00～12:00 13:00～17:00（土、日、祝を除く）

重要

本装置を使用する前に、必ず本取扱説明書をお読み頂き内容を十分に理解したうえで使用してください。

注意事項

- ・光源を目に当てたり見つめたりしないでください。
- ・幼児の手の届かない場所をご利用ください。
- ・バーコードの設定以外で使用しないでください。
- ・弊社の許可なく、改造・分解・修理を行わないでください。
- ・医療機器・原子力設備など人命に関わる機器として使用しないでください。
- ・日本語取扱説明書に記載のない環境で使用しないでください。

安全に正しくご使用いただくために

- ・ケーブルの着脱時は、必ず本機に接続している機器の電源を切ってください。
- ・本機を分解改造しないでください。
- ・ケーブル類はできるだけ高圧線や動力源から離してご使用ください。
ノイズや故障等の原因になります。
- ・ケーブルを持って、持ち運ばないようにしてください。
なお、保証期間中であっても、初期不良以外ケーブルは全て有償扱いとなります。
- ・本機の受光部に、水・油・ホコリなどを付着させないでください。
- ・本機は精密機械ですので、落下させた場合破損する恐れがあります。
持ち運びや設定の際はご注意ください。

目次

コードタイプ別初期設定一覧	1
パラメータ設定方法	2
設定手順	4
設定がおかしくなった時	5
1.バーコードリーダー初期設定	6
2.バーコードリーダー機能設定	7
3.RS232C パラメータ設定	9
4.読取設定	11
5.プリフィックス・サフィックス設定	12
6.桁数転送設定	13
7.Interleaved 2 of 5	15
8.Standard/Full ASCII Code39	16
9.CODE128	18
10.EAN128	19
11.CODABAR(NW7)	20
12.Italy Pharmacode(CODE32)	21
13.CODE93	22
14.CHINA POSTAL CODE	23
15.Industrial 2 of 5	24
16.Matrix 2 of 5	25
17.UPC-A	26
18.UPC-E	28
19.EAN13	30
20.EAN8	32
21.GS1-DataBar(RSS)-14	33
22.GS1-DataBar(RSS)-Limited	34
23.GS1-DataBar(RSS)-Expanded	35
24.Addon設定とノーマルバーコードの読込有効の同時設定	36
デシマルコードテーブル	37
ASCIIコード一覧	38
ファンクションコード一覧	44
キャラクターテーブル一覧	46

コードタイプ別初期設定一覧

	読取	読取桁数		コードID			
		最少	最大	Default ID		AIM ID	
Interleaved 2 of 5	有効	10	82	I	Z]I0	
Code 39	有効	1	82	C	M	Y]A0
Full ASCII Code 39	有効	1	82	O]A0	
Code 128	有効	1	82	K]C0	
EAN 128	有効	-	-	W]C1	
Codabar(NW7)	無効	10	82	N	X]F0	
Italy Pharmacode(CODE32)	無効	-	-	P]X0	
Code 93	無効	6	82	L]G0	
China Postal Code	無効	11	82	D]X0	
Industrial 2 of 5	無効	10	82	H]S0	
Matrix 2 of 5	無効	10	82	U]X0	
UPCA	有効	-	-	A]E0	
UPCE	有効	-	-	C	E]E0	
EAN13	有効	-	-	A	F]E0	
EAN8	有効	-	-	B	FF]E4	
DataBar(RSS)-14	無効	-	-	R]e0	
DataBar(RSS)-Limited	無効	-	-	S]e0	
DataBar(RSS)-Expanded	無効	1	74	T]e0	



-BET

設定開始



-EXIT

設定終了

パラメータ設定方法①

例:P.16 「プリフィックス」設定方法

1. ページ左上の「設定開始」をスキャンします。



-BET

2. ページ左の「設定コード」をスキャンします。



0203

3. 設定が無効になっている場合、ページ右の「読取設定」の「有効」をスキャンします。



00

4. 一度設定を終了・保存するため、「設定終了」をスキャンします。



-EXIT

5. 「設定保存」をスキャンします。



-DONE

1. 「設定開始」をスキャンします。



-BET

2. 「設定コード」をスキャンします。



0203

8. プリフィックスを設定するので、「プリフィックスコード設定」をスキャンします。



04

9. P.42～のASCIIコード一覧から設定したい値をスキャンします。



A



B



C

4. 「設定終了」をスキャンします。



-EXIT

5. 「設定保存」をスキャンして設定を終了します。



-DONE



-DONE

設定保存



設定開始



設定終了

パラメータ設定方法②

例:P.22 CODE128「最小読取桁数」設定方法

1. ページ左上の「設定開始」をスキャンします。



2. ページ左の「設定コード」をスキャンします。



3. 設定が無効になっている場合、ページ右の「読取設定」の「有効」をスキャンします。



4. 一度設定を終了・保存するため、「設定終了」をスキャンします。



5. 「設定保存」をスキャンします。



1. 読取桁数の設定をするので、「設定開始」をスキャンします。



2. 「設定コード」をスキャンします。



8. 読取桁数設定の最小値を設定するので、「Min Length (01)/【01】」をスキャンします



9. P.41のデシマルコード テーブルから設定したい数値をスキャンします。



(桁数2と設定したい場合です。
それ以外の桁数は対応するコードをスキャンしてください。)

4. 「設定終了」をスキャンします。



5. 「設定保存」をスキャンして設定を終了します。



設定保存



BET

設定開始

設定手順



EXT

設定終了



10 CODE 128



Step2

10.1 読取設定


読取無従


読取有従










10.2 読取桁数設定


Min Length: [01], [02]


Max Length: [01], [02]



デシマルコード (16進テーブル参照)

 *0*	 *6*
 *1*	 *7*
 *2*	 *8*
 *3*	 *8*
 *4*	 *9*

- ステップ1:【設定開始】
- ステップ2:【設定コード】
- ステップ3:【オプションコード】
- ステップ4:【デシマルコード】
- ステップ5:【デシマルコード】
- ステップ6:【設定終了】
- ステップ7:【設定保存】



DONE

設定保存



設定開始

設定終了

設定がおかしくなった時

何らかの事情で調子が悪くなって出荷時の設定に戻したい場合があります。
弊社のバーコードリーダーは下記の設定をして出荷しています。
出荷時の設定に戻されたい場合は下記のバーコードを上から順番に読み込んでください。

1.設定開始



(ページ左上 設定開始)

2.デフォルト設定



1.設定開始



(ページ左上 設定開始)

2.日本語設定



3.CODE39フォーマット設定



4. CODABAR(NW7)読取有効設定



5.読取回数設定 リピートデーコード回数です。設定された回数に達しないと出力されません。



(弊社では2回を初期設定としております。)

6.設定終了



(ページ右上 設定終了)



(ページ右下 設定保存)



設定保存



-BSET

設定開始



-EXT

設定終了

Chap.1 バーコードリーダー初期設定

1.1 デフォルト設定



0100



00

デフォルト設定



01

ファームウェアバージョン確認

1.2 インターフェース設定



0101

デフォルト:【PC AT】



00

【PC AT】



01

RS232C



02

Keyboard

1.3 キーボード言語設定



0102

デフォルト:【PCAT(US)】



00

ALTキーモード



01

【PCAT(US)】



02

PCAT (French)



03

PCAT (German)



04

PCAT (Italy)



05

PCAT (Swiss)



06

PCAT (Japanese)



07

PCAT (UK)



08

PCAT (Spanish)

※本製品は、日本語【PCAT (Japanese)】
の設定を行い出荷しております。



-DONE

設定保存



設定開始

設定終了

Chap.2 バーコードリーダー機能設定

2.1 Caps Lock設定

読み込んだバーコードの全ての文字について
指定された大文字・小文字に変換して通知する機能指定です。

(設定例)

設定		結果	
リーダ設定	キーボード状態	バーコードデータ	出力
CapsLockを使用しない	Caps Lock_OFF	AaBbCc	AaBbCc
	Caps Lock_ON		aAbBcC
CapsLockを使用する	Caps Lock_OFF		aAbBcC
	Caps Lock_ON		AaBbCc
CapsLock自動	Caps Lock_OFF		AaBbCc
	Caps Lock_ON		AaBbCc

デフォルト:【自動】



【自動】

Caps Lock OFF

Caps Lock ON



小文字

大文字

2.2 ブザー音設定

読取確認音の周波数を変更できます。



デフォルト:【2.4KHz】



ブザー音無

4.3KHz



【2.4KHz】

1.5KHz

2.3 数字キーポジション



デフォルト:【英数字キー】



【英数字キー】

数字キー



設定保存



設定開始



設定終了

2.4 コードID設定

読み込んだバーコードの種類を転送したい場合に設定します。

コードIDは、スキャンするバーコードの種類を識別するコードです。
AIM ID設定を有効にし、バーコードを読み込むと
下記の表のとおりコードIDが転送データのヘッダーに付加されます。



コードIDはお好みに選択することも可能です。その設定についてはそれぞれのバーコードの種類のコードID設定を参照ください。また、その設定の際はユーザID選択を有効にしてください。

デフォルト:【無効】



【無効】



SET2(E/F/FF/I/M/N)



SET4(C/A/B/Z/Y/X)



AIM ID設定



SET1(C/A/B/I/M/N)



SET3(E/A/B/I/C/N)



ユーザID選択

	SET1	SET2	SET3	SET4	AIM ID
Interleaved 2 of 5	I	I	I	Z]I0
Code 39	M	M	C	Y]A0
Full ASCII Code 39	O	O	O	O]A0
Code 128	K	K	K	K]C0
EAN 128	W	W	W	W]C1
Codabar(NW7)	N	N	N	X]F0
Italy Pharmacode(CODE32)	P	P	P	P]X0
Code 93	L	L	L	L]G0
China Postal Code	D	D	D	D]X0
Industrial 2 of 5	H	H	H	H]S0
Matrix 2 of 5	U	U	U	U]X0
UPCA	A	A	A	A]E0
UPCE	C	E	E	C]E0
EAN13	A	F	A	A]E0
EAN8	B	FF	B	B]E4
DataBar(RSS)-14	R	R	R	R]e0
DataBar(RSS)-Limited	S	S	S	S]e0
DataBar(RSS)-Expanded	T	T	T	T]e0



設定保存



-SET

設定開始



-EXIT

設定終了

Chap.3 3.RS232C パラメータ設定

3.1 Baud Rate(通信速度)

デフォルト:【9600bps】



0300



00

1200bps



01

2400bps



02

4800bps



03

【9600bps】



04

19200bps



05

38400bps



06

57600bps



07

115200bps

3.2 Data Parity(パリティ長)

デフォルト:【No Parity】



0301



00

Even(偶数)



01

Odd(奇数)



02

Mark



03

Space



04

【No Parity】

3.3 Data Bits(データ長)

デフォルト:【8Bits】



0302

7Bits



00



01

【8Bits】



-DONE

設定保存



BET

設定開始



EXT

設定終了

3.4 フローコントロール

データレディ: スキャナーはデコードが成功したことを示すために送信要求信号(RTS)を出し送信可信号(CTS)を受け取ると、データを送信します。

スキャナーレディ: スキャナーの電源がついているとき、スキャナーは送信要求信号(RTS)を出し送信可信号(CTS)を受け取るとデータを送信します。



0304

デフォルト:【無効】



00

【無効】



01

データレディ



02

スキャナレディ

3.5 ACK/NAK

ACK/NAKプロトコルは、ソフトウェアプロトコルの一つで、ホストコンピュータとの受信結果をスキャナーがホストコンピュータにフィードバックするものです。これが設定されているとスキャナーがコマンドを正しく受信実行しているときには、スキャナーはホストコンピュータにACK(06H)という信号を出力します。

スキャナーがコマンドを正しく受信できなかったときはNAK(15H)という信号を出力します。

また、ACK/NAKプロトコルは、ホストコンピュータがコマンドを出す速度をスキャナーで処理できる範囲に抑えることもできます。



0305

デフォルト:【無効】



00

【無効】



01

有効

3.6 STX/ETX

ASCIIコードで、テキストの初め(STX)02Hと終わり(ETX)03Hで、通常データ送信を圧縮できます。



0307

デフォルト:【無効】



00

【無効】



01

有効



DONE

設定保存



設定開始



設定終了

Chap.4 読取設定

4.1 読取設定

バーコードリーダの読込をどのような状態で行うかを設定します。



デフォルト:【トリガ ON/OFF】



テストモード



【トリガ ON/OFF】



連続読取(LED点滅)



トリガスイッチにて動作



読取後 消灯



トリガ無し(常時点灯)

4.2 読取回数設定

リピートデコード回数です。バーコードをデコードする際に、設定された回数に達しないと出力されません。誤読しやすいバーコードを読取る際に、よく使われる機能となります。



※本製品は、【2回】の設定を行い出荷しております。

デフォルト:【0回】



【0回】



1回



2回



3回



4回



5回

4.3 終端データ

バーコードデータの最後に付加するコードを選択します。



※
CR・・・カーソルが先頭に行くこと
LF・・・1行下に行くこと
Disable・・・設定しない

デフォルト:【CR+LF(Enter)】



CR



【CR+LF(Enter)】



LF



Disable

(コード対応表)

コード	16進データ
CRコード	0DH
LFコード	0AH
CR+LFコード	0DH+0AH



設定保存



設定開始



設定終了

Chap.5 プリフィックス・サフィックス設定

5.1 プリフィックスの設定
(ヘッダーの付加)



5.1-1 プリフィックス設定

デフォルト:【無効】

バーコードデータのヘッダーに文字を付加させる設定



有効



【無効】

5.1-2 プリフィックスコード設定

読み込んだバーコードデータのヘッダーとして、文字列を付加させたい場合に設定してください。
(最大8桁まで設定できます。)



プリフィックスコード設定
(最大8桁)



クリア設定

5.2 サフィックスの設定
(フッターの付加)



5.2-1 サフィックス設定

デフォルト:【無効】

バーコードデータのフッターに文字を付加させる設定



有効



【無効】

5.2-2 サフィックスコード設定

読み込んだバーコードデータのフッターとして、文字列を付加させたい場合に設定してください。
(最大8桁まで設定できます。)



サフィックスコード設定
(最大8桁)



クリア設定



設定保存



設定開始



設定終了

Chap.6 桁数転送設定

6.1 桁数転送設定

読み込んだバーコードの長さを転送したい場合に設定してください。
バーコードの長さは、2桁の数字にて転送されます。

	デフォルト:【無効】	
	【無効】	有効
6.2 コード別桁数転送設定	6.2-1 全コード桁数転送設定	
	有効	無効
	6.2-2 CODE39 桁数転送設定	
	有効	無効
	6.2-3 Codabar(NW7) 桁数転送設定	
	有効	無効
	6.2-4 Interleaved 2 of 5 桁数転送設定	
	有効	無効
	6.2-5 China Postal Code 桁数転送設定	
	有効	無効
	6.2-6 Industrial 2 of 5 桁数転送設定	
	有効	無効
	6.2-7 Matrix 2 of 5 桁数転送設定	
	有効	無効
	6.2-8 UPCA 桁数転送設定	
	有効	無効
	6.2-9 EAN13(JAN13) 桁数転送設定	
	有効	無効



設定保存



BET

設定開始



EXIT

設定終了



0210

6.2-10 EAN8(JAN8) 桁数転送設定



18

有効



19

無効

6.2-11 UPCE 桁数転送設定



20

有効



21

無効

6.2-12 Code 128 桁数転送設定



22

有効



23

無効

6.2-13 Code 93 桁数転送設定



24

有効



25

無効

6.2-14 Full ASCII Code 39 桁数転送設定



26

有効



27

無効

6.2-15 Italy Pharmacode 桁数転送設定



28

有効



29

無効

6.2-16 EAN 128 桁数転送設定



30

有効



31

無効

6.2-17 GS1 DataBar(RSS)-14 桁数転送設定



32

有効



33

無効

6.2-18 GS1 DataBar(RSS)-Limited 桁数転送設定



34

有効



35

無効

6.2-19 GS1 DataBar(RSS)-Expanded 桁数転送設定



36

有効



37

無効

6.2-20 PDF417 桁数転送設定



38

有効



39

無効



-DONE

設定保存



設定開始



設定終了

Chap.7 Interleaved 2 of 5

7.1 読取設定

デフォルト:【有効】



無効



【有効】

7.2 チェックサム検査及び転送設定

デフォルト:【チェックサム検査:無効】



チェックサムとは、データの信頼性を確認するためのチェック方法です。送信データの最終データにあらかじめ付されている合計値と受信側で計算した合計値を比較することで誤りを検出します。このバーコードは性質上誤読が多いので、チェックサムをつけての運用をお勧めします。



チェックサム検査:有効
チェックサム転送:有効



チェックサム検査:有効
チェックサム転送:無効



チェックサム検査:【無効】

7.3 読取桁数設定

1から48までの最小限と最大限の長さは、データエントリーを制限するように設定できます。長さは、送られてきたバーコードデータの実際の長さで決められています。この制限を越える長さのラベルは拒否されます。最小限の長さの設定が最大限の長さの設定を超えないようにしてください。全てのラベルの読み取りがされません。特に、固定長バーコードをデコードさせるために、最大限と最小限の読み取りの長さに同じ数値を設定できます。WPC(UPC、EAN、JAN)のような固定長ラベルのバーコードでは、数値の設定は影響がありません。



Min Length (01)/【10】



Max Length (82)/【82】

7.4 コードID設定

コードIDは、スキャンするバーコードの種類を識別するコードです。そのコードIDをお好みに選択できます。数字・アルファベット大文字・記号がデシマルコード、ASC IIコード一覧から選択できます。またその際は、P.12のユーザーID選択を有効にして下さい。



コードID設定



設定クリア



設定保存












設定開始



設定終了

Chap.8 Standard / Full ASCII Code 39

<p>8.1 読取設定</p>  <p>*00*</p> <p>無効</p>	<p>デフォルト:【有効】</p>  <p>*01*</p> <p>【有効】</p>
<p>8.2 フォーマット設定</p> <p>FullASC II CODE-39は、CODE-39強化版です。 全てのASC IIコードを表す128キャラクタのデータです。 本製品は【Standard】の設定を行い出荷しております。</p>  <p>*02*</p> <p>【Full ASCII】</p>	<p>デフォルト:【Full ASCII】</p>  <p>*03*</p> <p>Standard</p>
<p>8.3 チェックサム検査及び転送設定</p> <p>デフォルト:【チェックサム検査:無効】</p> <p>チェックサムとは、データの信頼性を確認するためのチェック方法です。 送信データの最終データにあらかじめ付されている合計値と受信側で 計算した合計値を比較することで誤りを検出します。</p>  <p>*04*</p> <p>チェックサム検査:有効 チェックサム転送:有効</p>  <p>*05*</p> <p>チェックサム検査:有効 チェックサム転送:無効</p>  <p>*06*</p> <p>【チェックサム検査:無効】</p>	
<p>8.4 スタート・ストップキャラクター転送設定</p> <p>デフォルト:【無効】</p> <p>CODE-39のスタートコードとストップコードである、“*”転送を指定します。 有効を設定した場合には、バーコードデータは前後に“*”が付加され はさまれた形で転送されます。</p>  <p>*07*</p> <p>有効</p>  <p>*08*</p> <p>【無効】</p>	



設定保存



設定開始



設定終了



8.5 読取桁数設定

1から48までの最小限と最大限の長さは、データエントリーを制限するように設定できます。長さは、送られてきたバーコードデータの実際の長さで決められています。この制限を越える長さのラベルは、拒否されます。最小限の長さの設定が最大限の長さの設定を超えないようにしてください。全てのラベルの読み取りがされません。特に、固定長バーコードをデコードさせるために、最大限と最小限の読み取りの長さに同じ数値を設定できます。WPC(UPC、EAN、JAN)のような固定長ラベルのバーコードでは、数値の設定は影響がありません。



Min Length (01)/【01】



Max Length (82)/【82】

8.6 コードID設定

コードIDは、スキャンするバーコードの種類を識別するコードです。そのコードIDをお好みに選択できます。数字・アルファベット大文字・記号がデシマルコード、ASC IIコード一覧から選択できます。またその際は、P.12のユーザーID選択を有効にしてください。



コードID設定



設定クリア



設定保存



BET













設定開始



EXT

設定終了

Chap.9 CODE 128

<p>9.1 読取設定</p>  <p>*00*</p> <p>無効</p>	<p>デフォルト:【有効】</p>  <p>*01*</p> <p>【有効】</p>
<p>9.2 読取桁数設定</p> <p>1から48までの最小限と最大限の長さは、データエントリーを制限するように設定できます。長さは、送られてきたバーコードデータの実際の長さで決められています。この制限を越える長さのラベルは、拒否されます。最小限の長さの設定が最大限の長さの設定を超えないようにしてください。全てのラベルの読み取りがされません。特に、固定長バーコードをデコードさせるために、最大限と最小限の読み取りの長さと同じ数値を設定できます。WPC(UPC、EAN、JAN)のような固定長ラベルのバーコードでは数値の設定は影響がありません。</p>  <p>*02*</p>  <p>*03*</p> <p>Min Length (01)/【01】</p> <p>Max Length (82)/【82】</p>	
<p>9.3 コードID設定</p> <p>コードIDは、スキャンするバーコードの種類を識別するコードです。そのコードIDをお好みに選択できます。数字・アルファベット大文字・記号がデシマルコード、ASC IIコード一覧から選択できます。またその際は、P.12のユーザーID選択を有効にしてください。</p>  <p>*04*</p>  <p>*05*</p> <p>コードID設定</p> <p>設定クリア</p>	
<p>9.4 CODE128 A</p> <p>Code128で文字セット[CODE-A]を使用する場合に設定をします。 [CODE-A]: 数字・英字(大文字のみ)と制御文字(DEL など)のセット</p>  <p>*06*</p> <p>無効</p>	<p>デフォルト:【有効】</p>  <p>*07*</p> <p>【有効】</p>
<p>9.5 CODE128 B</p> <p>Code128で文字セット[CODE-B]を使用する場合に設定をします。 [CODE-B]: ASCII文字を表すセット</p>  <p>*08*</p> <p>無効</p>	<p>デフォルト:【有効】</p>  <p>*09*</p> <p>【有効】</p>
<p>9.6 CODE128 C</p> <p>Code128で文字セット[CODE-C]を使用する場合に設定をします。 [CODE-C]: 数字のみを表すセット</p>  <p>*10*</p> <p>無効</p>	<p>デフォルト:【有効】</p>  <p>*11*</p> <p>【有効】</p>



0405



-DONE

設定保存



SET

設定開始
















EXT

設定終了

Chap.10 EAN 128



0503

<p>10.1 読取設定</p>  <p>*00*</p> <p>無効</p>	<p>デフォルト:【有効】</p>  <p>*01*</p> <p>【有効】</p>
<p>10.2 フィールドセパレータ設定</p>  <p>*04*</p> <p>フィールドセパレータ設定</p>  <p>*06*</p> <p>【無効】</p>	<p>デフォルト:【無効】</p>  <p>*05*</p> <p>有効</p>
<p>10.3 コードID設定</p> <p>コードIDは、スキャンするバーコードの種類を識別するコードです。そのコードIDをお好みに選択できます。数字・アルファベット大文字・記号がデシマルコード、ASC IIコード一覧から選択できます。またその際は、P.12のユーザーID選択を有効にして下さい。</p>  <p>*07*</p> <p>コードID設定</p>  <p>*08*</p> <p>設定クリア</p>	
<p>10.4 EAN128 A</p> <p>EAN128で文字セット[CODE-A]を使用する場合に設定をします。 [CODE-A]: 数字・英字(大文字のみ)と制御文字(DEL など)のセット</p>  <p>*09*</p> <p>無効</p>	<p>デフォルト:【有効】</p>  <p>*10*</p> <p>【有効】</p>
<p>10.5 EAN128 B</p> <p>EAN128で文字セット[CODE-B]を使用する場合に設定をします。 [CODE-B]: ASCII文字を表すセット</p>  <p>*11*</p> <p>無効</p>	<p>デフォルト:【有効】</p>  <p>*12*</p> <p>【有効】</p>
<p>10.6 EAN128 C</p> <p>EAN128で文字セット[CODE-C]を使用する場合に設定をします。 [CODE-C]: 数字のみを表すセット</p>  <p>*13*</p> <p>無効</p>	<p>デフォルト:【有効】</p>  <p>*14*</p> <p>【有効】</p>



DONE

設定保存



BET

設定開始



EXT

設定終了

Chap.11 CODABAR(NW7)



0402

11.1 読取設定

デフォルト:【無効】



00

【無効】



01

有効

11.2 スタート・ストップコード転送設定

デフォルト:【有効】

スタートストップコードを、転送する場合に指定します。



02

【有効】



03

無効

11.3 チェックサム検査及び転送設定

デフォルト:【チェックサム検査:無効】

チェックサムとは、データの信頼性を確認するためのチェック方法です。送信データの最終データにあらかじめ付されている合計値と受信側で計算した合計値を比較することで誤りを検出します。



04

チェックサム検査:有効
チェックサム転送:有効



05

チェックサム検査:有効
チェックサム転送:無効



06

【チェックサム検査:無効】

11.4 読取桁数設定

1から48までの最小限と最大限の長さは、データエントリを制限するように設定できます。長さは、送られてきたバーコードデータの実際の長さで決められています。この制限を越える長さのラベルは、拒否されます。最小限の長さの設定が最大限の長さの設定を超えないようにしてください。全てのラベルの読み取りがされません。特に、固定長バーコードをデコードさせるために、最大限と最小限の読み取りの長さと同じ数値を設定できます。WPC(UPC、EAN、JAN)のような固定長ラベルのバーコードでは数値の設定は影響がありません。



09

Min Length (01)/【10】



10

Max Length (82)/【82】

11.5 コードID設定

コードIDは、スキャンするバーコードの種類を識別するコードです。そのコードIDをお好みに選択できます。数字・アルファベット大文字・記号がデシマルコード、ASC IIコード一覧から選択できます。またその際は、P.12のユーザーID選択を有効にして下さい。



11

コードID設定



12

設定クリア



DONE

設定保存



SET

設定開始



EXT

設定終了

Chap.12 Italy Pharmacode (CODE32)



0404

12.1 読取設定

デフォルト:【無効】



00

【無効】



01

有効

12.2 アルファベット転送設定

デフォルト:【有効】



02

【有効】



03

無効

12.3 チェックサム転送設定

デフォルト:【有効】

最終の文字がチェックサムとなります。
この文字を転送したい場合には、有効を設定してください。



04

【有効】



05

無効

12.4 コードID設定

コードIDは、スキャンするバーコードの種類を識別するコードです。
そのコードIDをお好みに選択できます。数字・アルファベット大文字・
記号がデシマルコード、ASC IIコード一覧から選択できます。
またその際は、P.12のユーザーID選択を有効にして下さい。



06

コードID設定



07

設定クリア



DONE

設定保存



BET

設定開始



EXT

設定終了

Chap.13 CODE93



0502

13.1 読取設定

デフォルト:【無効】



00

【無効】



01

有効

13.2 読取桁数設定

1から48までの最小限と最大限の長さは、データエントリーを制限するように設定できます。長さは、送られてきたバーコードデータの実際の長さ決められています。この制限を越える長さのラベルは、拒否されます。最小限の長さの設定が最大限の長さの設定を超えないようにしてください。全てのラベルの読み取りがされません。特に、固定長バーコードをデコードさせるために、最大限と最小限の読み取りの長さと同じ数値を設定できます。WPC(UPC、EAN、JAN)のような固定長ラベルのバーコードでは数値の設定は影響がありません。



02

Min Length (01)/【06】



03

Max Length (82)/【82】

13.3 コードID設定

コードIDは、スキャンするバーコードの種類を識別するコードです。そのコードIDをお好みに選択できます。数字・アルファベット大文字・記号がデシマルコード、ASC IIコード一覧から選択できます。またその際は、P.12のユーザーID選択を有効にしてください。



04

コードID設定



05

設定クリア



DONE

設定保存



設定開始



設定終了

Chap.14 CHINA POSTAL CODE

14.1 読取設定

デフォルト:【無効】



【無効】



有効



14.2 チェックサム検査及び転送設定

デフォルト:【チェックサム検査:無効】

チェックサムとは、データの信頼性を確認するためのチェック方法です。送信データの最終データにあらかじめ付されている合計値と受信側で計算した合計値を比較することで誤りを検出します。



チェックサム検査: 有効
チェックサム転送: 有効



チェックサム検査: 有効
チェックサム転送: 無効



【チェックサム検査:無効】

14.3 読取桁数設定

1から48までの最小限と最大限の長さは、データエントリーを制限するように設定できます。長さは、送られてきたバーコードデータの実際の長さで決められています。この制限を越える長さのラベルは、拒否されます。最小限の長さの設定が最大限の長さの設定を超えないようにしてください。全てのラベルの読み取りがされません。特に、固定長バーコードをデコードさせるために、最大限と最小限の読み取りの長さと同じ数値を設定できます。WPC(UPC、EAN、JAN)のような固定長ラベルのバーコードでは数値の設定は影響がありません。



Min Length (01)/【11】



Max Length (82)/【82】

14.4 コードID設定

コードIDは、スキャンするバーコードの種類を識別するコードです。そのコードIDをお好みに選択できます。数字・アルファベット大文字・記号がデシマルコード、ASC IIコード一覧から選択できます。またその際は、P.12のユーザーID選択を有効にしてください。



コードID設定



設定クリア



設定保存



BET

設定開始



EXT

設定終了

Chap.15 Industrial 2 of 5

15.1 読取設定

デフォルト:【無効】



00

【無効】



01

有効



0600

15.2 チェックサム検査及び転送設定

デフォルト:【チェックサム検査:無効】

チェックサムとは、データの信頼性を確認するためのチェック方法です。送信データの最終データにあらかじめ付されている合計値と受信側で計算した合計値を比較することで誤りを検出します。



02

チェックサム検査:有効
チェックサム転送:有効



03

チェックサム検査:有効
チェックサム転送:無効



04

【チェックサム検査:無効】

15.3 読取桁数設定

1から48までの最小限と最大限の長さは、データエントリーを制限するように設定できます。長さは、送られてきたバーコードデータの実際の長さで決められています。この制限を越える長さのラベルは、拒否されます。最小限の長さの設定が最大限の長さの設定を超えないようにしてください。全てのラベルの読み取りがされません。特に、固定長バーコードをデコードさせるために、最大限と最小限の読み取りの長さと同じ数値を設定できます。WPC(UPC、EAN、JAN)のような固定長ラベルのバーコードでは数値の設定は影響がありません。



05

Min Length (01)/【10】



06

Max Length (82)/【82】

15.4 コードID設定

コードIDは、スキャンするバーコードの種類を識別するコードです。そのコードIDをお好みに選択できます。数字・アルファベット大文字・記号がデシマルコード、ASC IIコード一覧から選択できます。またその際は、P.12のユーザーID選択を有効にしてください。



07

コードID設定



08

設定クリア



DONE

設定保存



設定開始



設定終了

Chap.16 Matrix 2of5



16.1 読取設定

デフォルト:【無効】



【無効】

有効

16.2 チェックサム検査及び転送設定

デフォルト:【チェックサム検査:無効】

チェックサムとは、データの信頼性を確認するためのチェック方法です。送信データの最終データにあらかじめ付されている合計値と受信側で計算した合計値を比較することで誤りを検出します。



チェックサム検査: 有効
チェックサム転送: 有効

チェックサム検査: 有効
チェックサム転送: 無効



【チェックサム検査:無効】

16.3 読取桁数設定

1から48までの最小限と最大限の長さは、データエントリーを制限するように設定できます。長さは、送られてきたバーコードデータの実際の長さで決められています。この制限を越える長さのラベルは、拒否されます。最小限の長さの設定が最大限の長さの設定を超えないようにしてください。全てのラベルの読み取りがされません。特に、固定長バーコードをデコードさせるために、最大限と最小限の読み取りの長さと同じ数値を設定できます。WPC(UPC、EAN、JAN)のような固定長ラベルのバーコードでは数値の設定は影響がありません。



Min Length (01)/【10】

Max Length (82)/【82】

16.4 コードID設定

コードIDは、スキャンするバーコードの種類を識別するコードです。そのコードIDをお好みに選択できます。数字・アルファベット大文字・記号がデシマルコード、ASC IIコード一覧から選択できます。またその際は、P.12のユーザーID選択を有効にしてください。



コードID設定

設定クリア



設定保存













設定開始



設定終了

Chap.17 UPC-A



<p>17.1 読取設定</p>  <p>無効</p>	<p>デフォルト:【有効】</p>  <p>【有効】</p>
<p>17.2 ゼロサプレス</p> <p>この機能が動いているとき、バーコードのデータキャラクタの先頭の0は切り捨てられます。この機能はWPC読み取りのときのみ使用されます。</p>  <p>【有効】</p>	<p>デフォルト:【有効】</p>  <p>無効</p>
<p>17.3 チェックサム転送設定</p> <p>このコードでは、チェックデジットが標準で含まれています。チェックデジットはバーコードの最終の1文字ですがこれを転送したくない場合には、無効を設定してください。</p>  <p>【有効】</p>	<p>デフォルト:【有効】</p>  <p>無効</p>
<p>17.4 Addon2</p> <p>この設定は、WPCコードを読み込んだ後に、続く追加文字(add-on code)の2文字を補う設定です。この設定下では、追加文字無しのノーマルのバーコードは読み込めません。このAddon設定と、ノーマルのバーコードの読込有効を同時に利用したい場合は、P.40を参照下さい。</p>  <p>有効</p>	<p>デフォルト:【無効】</p>  <p>【無効】</p>
<p>17.5 Addon5</p> <p>この設定は、WPCコードを読み込んだ後に、続く追加文字(add-on code)の5文字を補う設定です。この設定下では、追加文字無しのノーマルのバーコードは読み込みません。このAddon設定と、ノーマルのバーコードの読込有効を同時に利用したい場合は、P.40を参照下さい。</p>  <p>有効</p>	<p>デフォルト:【無効】</p>  <p>【無効】</p>



設定保存



設定開始



設定終了

デフォルト:【無効】



0504

17.6 EAN13変換



14

有効



15

【無効】

17.7 コードID設定

コードIDは、スキャンするバーコードの種類を識別するコードです。そのコードIDをお好みに選択できます。数字・アルファベット大文字・記号がデシマルコード、ASC IIコード一覧から選択できます。またその際は、P.12のユーザーID選択を有効にして下さい。



16

コードID設定



17

設定クリア

◎JANコードで頭に0を付けたい場合

(例 000012345670→0000012345670)

<設定方法>

設定開始



[*0504*]



17.6 EAN13変換 【有効】 [*14*]



設定終了



設定保存



-DONE

設定保存



設定開始



設定終了

Chap.18 UPC-E



18.1 読取設定

デフォルト:【有効】



無効



【有効】

18.2 ゼロサプレス

デフォルト:【有効】

この機能が動いているとき、バーコードのデータキャラクタの先頭の0は切り捨てられます。この機能はWPC読み取りのときのみ使用されます。



【有効】



無効

18.3 チェックサム転送設定

デフォルト:【有効】

このコードでは、チェックデジットが標準で含まれています。チェックデジットはバーコードの最終の1文字ですがこれを転送したくない場合には、無効を設定してください。



【有効】



無効

18.4 Addon2

デフォルト:【無効】

この設定は、WPCコードを読み込んだ後に、続く追加文字(add-on code)の2文字を補う設定です。この設定下では、追加文字無しのノーマルのバーコードは読み込めません。このAddon設定と、ノーマルのバーコードの読込有効を同時に利用したい場合は、P.40を参照下さい。



有効



【無効】

18.5 Addon5

デフォルト:【無効】

この設定は、WPCコードを読み込んだ後に、続く追加文字(add-on code)の5文字を補う設定です。この設定下では、追加文字無しのノーマルのバーコードは読み込みません。このAddon設定と、ノーマルのバーコードの読込有効を同時に利用したい場合は、P.40を参照下さい。



有効



【無効】



設定保存



-BET

設定開始



-EXT

設定終了

デフォルト:【無効】

18.6 UPCA変換設定

UPCAへの変換設定を行います。



0605



14



15

有効

【無効】

18.7 コードID設定

コードIDは、スキャンするバーコードの種類を識別するコードです。そのコードIDをお好みに選択できます。数字・アルファベット大文字・記号がデシマルコード、ASC IIコード一覧から選択できます。またその際は、P.12のユーザーID選択を有効にして下さい。



20



21

コードID設定

設定クリア



-DONE

設定保存













設定開始



設定終了

Chap.19 EAN13



<p>19.1 読取設定</p>  <p>無効</p>	<p>デフォルト:【有効】</p>  <p>【有効】</p>
<p>19.2 ゼロサプレス</p>  <p>【有効】</p>	<p>デフォルト:【有効】</p> <p>この機能が動いているとき、バーコードのデータキャラクタの先頭の0は切り捨てられます。この機能はWPC読み取りのときのみ使用されます。</p>  <p>無効</p>
<p>19.3 チェックサム転送設定</p>  <p>【有効】</p>	<p>デフォルト:【有効】</p> <p>このコードでは、チェックデジットが標準で含まれています。チェックデジットはバーコードの最終の1文字ですがこれを転送したくない場合には、無効を設定してください。</p>  <p>無効</p>
<p>19.4 Addon2</p>  <p>有効</p>	<p>デフォルト:【無効】</p> <p>この設定は、WPCコードを読み込んだ後に、続く追加文字(add-on code)の2文字を補う設定です。この設定下では、追加文字無しのノーマルのバーコードは読み込めません。このAddon設定と、ノーマルのバーコードの読込有効を同時に利用したい場合は、P.40を参照下さい。</p>  <p>【無効】</p>
<p>19.5 Addon5</p>  <p>有効</p>	<p>デフォルト:【無効】</p> <p>この設定は、WPCコードを読み込んだ後に、続く追加文字(add-on code)の5文字を補う設定です。この設定下では、追加文字無しのノーマルのバーコードは読み込みません。このAddon設定と、ノーマルのバーコードの読込有効を同時に利用したい場合は、P.40を参照下さい。</p>  <p>【無効】</p>



設定保存



設定開始



設定終了

19.6 ISBN変換設定

デフォルト:【無効】

ISBN(国際標準図書番号)は、バーコードブックランドラベルです。ISBNは978がついた10桁の数字です。



有効

【無効】

19.7 ISSN変換設定

デフォルト:【無効】



有効

【無効】

19.8 コードID設定

コードIDは、スキャンするバーコードの種類を識別するコードです。そのコードIDをお好みに選択できます。数字・アルファベット大文字・記号がデシマルコード、ASC IIコード一覧から選択できます。またその際は、P.12のユーザーID選択を有効にして下さい。



コードID設定

設定クリア



設定保存















設定開始



設定終了

Chap.20 EAN8



<p>20.1 読取設定</p>  <p>*00*</p> <p>無効</p>	<p>デフォルト:【有効】</p>  <p>*01*</p> <p>【有効】</p>
<p>20.2 ゼロサプレス</p>  <p>*02*</p> <p>【有効】</p>	<p>デフォルト:【有効】</p> <p>この機能が動いているとき、バーコードのデータキャラクタの先頭の0は切り捨てられます。この機能はWPC読み取りのときのみ使用されます。</p>  <p>*03*</p> <p>無効</p>
<p>20.3 チェックサム転送設定</p>  <p>*04*</p> <p>【有効】</p>	<p>デフォルト:【有効】</p> <p>このコードでは、チェックデジットが標準で含まれています。チェックデジットはバーコードの最終の1文字ですがこれを転送したくない場合には、無効を設定してください。</p>  <p>*05*</p> <p>無効</p>
<p>20.4 Addon2</p>  <p>*06*</p> <p>有効</p>	<p>デフォルト:【無効】</p> <p>この設定は、WPCコードを読み込んだ後に、続く追加文字(add-on code)の2文字を補う設定です。この設定下では、追加文字無しのノーマルのバーコードは読み込めません。このAddon設定と、ノーマルのバーコードの読込有効を同時に利用したい場合は、P.40を参照下さい。</p>  <p>*07*</p> <p>【無効】</p>
<p>20.5 Addon5</p>  <p>*08*</p> <p>有効</p>	<p>デフォルト:【無効】</p> <p>この設定は、WPCコードを読み込んだ後に、続く追加文字(add-on code)の5文字を補う設定です。この設定下では、追加文字無しのノーマルのバーコードは読み込みません。このAddon設定と、ノーマルのバーコードの読込有効を同時に利用したい場合は、P.40を参照下さい。</p>  <p>*09*</p> <p>【無効】</p>
<p>20.6 コードID設定</p>  <p>*14*</p> <p>コードID設定</p>	<p>コードIDは、スキャンするバーコードの種類を識別するコードです。そのコードIDをお好みに選択できます。数字・アルファベット大文字・記号がデシマルコード、ASC IIコード一覧から選択できます。またその際は、P.12のユーザーID選択を有効にして下さい。</p>  <p>*15*</p> <p>設定クリア</p>



設定保存



設定開始



設定終了

Chap.21 GS1 DataBar(RSS)-14

21.1 読取設定

デフォルト:【無効】



【無効】



有効



21.2 コードID設定

コードIDは、スキャンするバーコードの種類を識別するコードです。そのコードIDをお好みに選択できます。数字・アルファベット大文字・記号がデシマルコード、ASC IIコード一覧から選択できます。またその際は、P.12のユーザーID選択を有効にしてください。



コードID設定



設定クリア

21.3 プレフィックス転送設定

デフォルト:【無効】



有効



【無効】

21.4 チェックサム転送設定

デフォルト:【無効】

最終の文字がチェックサムとなります。この文字を転送したい場合には、有効を設定してください。



有効



【無効】



設定保存



設定開始



設定終了

Chap.22 GS1 DataBar(RSS)-Limited

22.1 読取設定

デフォルト:【無効】



【無効】



有効

22.2 コードID設定



コードIDは、スキャンするバーコードの種類を識別するコードです。そのコードIDをお好みに選択できます。数字・アルファベット大文字・記号がデシマルコード、ASC IIコード一覧から選択できます。またその際は、P.12のユーザーID選択を有効にしてください。



コードID設定



設定クリア

22.3 プレフィックス転送設定

デフォルト:【無効】



有効



【無効】

22.4 チェックサム転送設定

デフォルト:【無効】

最終の文字がチェックサムとなります。この文字を転送したい場合には、有効を設定してください。



有効



【無効】



設定保存



設定開始



設定終了

Chap.23 GS1 DataBar(RSS)-Expanded

23.1 読取設定

デフォルト:【無効】



【無効】



有効



23.2 コードID設定

コードIDは、スキャンするバーコードの種類を識別するコードです。そのコードIDをお好みに選択できます。数字・アルファベット大文字・記号がデシマルコード、ASC IIコード一覧から選択できます。またその際は、P.12のユーザーID選択を有効にしてください。



コードID設定



設定クリア

23.3 読取桁数設定

1から48までの最小限と最大限の長さは、データエントリーを制限するように設定できます。長さは、送られてきたバーコードデータの実際の長さ決められています。この制限を越える長さのラベルは、拒否されます。最小限の長さの設定が最大限の長さの設定を超えないようにしてください。全てのラベルの読み取りがされません。特に、固定長バーコードをデコードさせるために、最大限と最小限の読み取りの長さと同じ数値を設定できます。WPC(UPC、EAN、JAN)のような固定長ラベルのバーコードでは数値の設定は影響がありません。



Min Length (01)/【01】



Max Length (74)/【74】



設定保存



設定開始



設定終了

Chap.24 Addon設定とノーマルバーコードの読込有効の同時設定

24.1 UPC-A Addon同時設定 デフォルト:【無効】

Addon設定と、ノーマルのUPC-Aバーコードの読込有効を同時に利用したい場合は、この設定を有効にして下さい。その場合は、P.30のAddon設定も有効にして下さい。



24.2 UPC-E Addon同時設定 デフォルト:【無効】

Addon設定と、ノーマルのUPC-Eバーコードの読込有効を同時に利用したい場合は、この設定を有効にして下さい。その場合は、P.32のAddon設定も有効にして下さい。



有効

24.3 EAN13 Addon同時設定 デフォルト:【無効】

Addon設定と、ノーマルのEAN13バーコードの読込有効を同時に利用したい場合は、この設定を有効にして下さい。その場合は、P.34のAddon設定も有効にして下さい。



24.4 EAN8 Addon同時設定 デフォルト:【無効】

Addon設定と、追加文字無しEAN8バーコードの読込有効を同時に利用したい場合は、この設定を有効にして下さい。その場合は、P.36のAddon設定も有効にして下さい。



設定保存



SET

設定開始



EXT

設定終了

デシマルコードテーブル (16進テーブルコード表)



0



5



1



6



2



7



3



8



4



9



DONE

設定保存



BET

設定開始



EXT

設定終了

付録A: ASCIIコード一覧(1)



%U

NUL



\$A

SOH



\$B

STX



\$C

ETX



\$D

EOT



\$E

ENQ



\$F

ACK



\$G

BEL



\$H

BS



\$I

HT



\$J

LF



\$K

VT



\$L

FF



\$M

CR



\$N

SO



\$O

SI



\$P

DLE



\$Q

DC1



\$R

DC2



\$S

DC3



\$T

DC4



-DONE

設定保存



BET

設定開始



EXT

設定終了

付録A: ASCIIコード一覧(2)



\$U

NAK



\$V

SYN



\$W

ETB



\$X

CAN



\$Y

EM



\$Z

SUB



%A

ESC



%B

FS



%C

GS



%D

RS



%E

US



**

Space



/A

!



/B

”



/C

#



/D

\$



/E

%



/F

&



/G

”



/H

(



/I

)



-DONE

設定保存



BET

設定開始



EXT

設定終了

付録A: ASCIIコード一覧(3)



/J

*



/K

+



/L

,



/M

-



/N

.



/O

/



/P

0



/Q

1



/R

2



/S

3



/T

4



/U

5



/V

6



/W

7



/X

8



/Y

9



/Z

:



/F

;



/G

<



/H

=



/I

>



DONE

設定保存



BET

設定開始



EXT

設定終了

付録A: ASCIIコード一覧(4)



%J

?



%V

@



A

A



B

B



C

C



D

D



E

E



F

F



G

G



H

H



I

I



J

J



K

K



L

L



M

M



N

N



O

O



P

P



Q

Q



R

R



DONE

設定保存



BET

設定開始



EXT

設定終了

付録A: ASCIIコード一覧(5)



S

S



T

T



U

U



V

V



W

W



X

X



Y

Y



Z

Z



**K*

[



**L*

¥



**M*

]



**N*

^



**O*

-



**W*

`



**A*

a



**B*

b



**C*

c



**D*

d



**E*

e



**F*

f



-DONE

設定保存



BET

設定開始



EXT

設定終了

付録A: ASCIIコード一覧(6)



**G*

g



**H*

h



**I*

i



**J*

j



**K*

k



**L*

l



**M*

m



**N*

n



**O*

o



**P*

p



**Q*

q



**R*

r



**S*

s



**T*

t



**U*

u



**V*

v



**W*

w



**X*

x



**Y*

y



**Z*

z



**P*

{



**Q*

|



**R*

}



**S*

~



**T*

DEL



-DONE

設定保存



BET

設定開始



-EXT

設定終了

付録B: ファンクションコード一覧(キーボードインタフェース用)



F1Z6R800

F1



F1Z6R801

F2



F1Z6R802

F3



F1Z6R803

F4



F1Z6R804

F5



F1Z6R805

F6



F1Z6R806

F7



F1Z6R807

F8



F1Z6R808

F9



F1Z6R809

F10



F1Z6R810

F11



F1Z6R811

F12



F1Z6R812

Home



F1Z6R813

End



-DONE

設定保存



BET

設定開始



EXT

設定終了

付録B: ファンクションコード一覧(キーボードインタフェース用)



F1Z6R814

Right



F1Z6R815

Left



F1Z6R816

Up



F1Z6R817

Down



F1Z6R818

Page Up



F1Z6R819

Page Down



F1Z6R820

Tab



F1Z6R821

Back Tab



F1Z6R822

Esc



F1Z6R823

Enter



F1Z6R824

Back Space



F1Z6R825

Insert



F1Z6R826

Delete



F1Z6R827

Alt Make



F1Z6R828

Alt Break



F1Z6R829

Shift Make



F1Z6R830

Shift Break



F1Z6R831

Ctrl Make



F1Z6R832

Ctrl Break



DONE

設定保存



BET

設定開始



EXT

設定終了

付録C: キャラクターテーブル一覧(キーボードインタフェース用)

	0		1		2	3	4	5	6	7
	Type1	Type2	Type1	Type2						
0	^@		^P	F2	SP	0	@	P	`	p
1	^A	Ins	^Q	F3	!	1	A	Q	a	q
2	^B	Del	^R	F4	“	2	B	R	b	r
3	^C	Home	^S	F5	#	3	C	S	c	s
4	^D	End	^T	F6	\$	4	D	T	d	t
5	^E	Up	^U	F7	%	5	E	U	e	u
6	^F	Down	^V	F8	&	6	F	V	f	v
7	^G	Left	^W	F9	'	7	G	W	G	w
8	^H	BS	^X	F10	(8	H	X	h	x
9	^I	HT	^Y	F11)	9	I	Y	i	y
A	^J	LF	^Z	F12	*	:	J	Z	j	z
B	^K	Right	^[Esc	+	;	K	[k	{
C	^L	PgUp	^¥	Exec	,	<	L	¥	l	
D	^M	Enter	^]		-	=	M	}	m	}
E	^N	PgDn	^^		.	>	N	^	n	~
F	^O	F1	^_		/	?	O	_	o	DEL



DONE

設定保存



BET

設定開始



-EXT

設定終了

付録C: キャラクターテーブル一覧 (RS232C用)

	0	1	2	3	4	5	6	7
0	NUL	DLE	SP	0	@	P	`	p
1	SOH	DC1	!	1	A	Q	a	q
2	STX	DC2	“	2	B	R	b	r
3	ETX	DC3	#	3	C	S	c	s
4	EOT	DC4	\$	4	D	T	d	t
5	ENQ	NAK	%	5	E	U	e	u
6	ACK	SYN	&	6	F	V	f	v
7	BEL	ETB	‘	7	G	W	G	w
8	BS	CAN	(8	H	X	h	x
9	HT	EM)	9	I	Y	i	y
A	LF	SUM	*	:	J	Z	j	z
B	VT	ESC	+	;	K	[k	{
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	
D	CR	GS	-	=	M	}	m	}
E	SO	RS	.	>	N	^	n	~
F	SI	US	/	?	O	_	o	DEL



-DONE

設定保存